

平成25年行政事業レビューシート (警察庁)

<b>事業名</b>	電波を活用した端末制御通信による信号制御の高度化に関するモデル事業		<b>担当部局庁</b>	交通局		<b>作成責任者</b>	交通規制課長 和田 昭夫		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度～平成27年度(予定)		<b>担当課室</b>	交通規制課					
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	安全かつ快適な交通の確保 3 道路交通環境の整備					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	科学技術イノベーション総合戦略					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<p>交通管制システムは、都市における過密な交通の制御を行うために、交通管制センター等に設置している中央装置と道路に設置している信号制御機とを通信事業者回線により1本づつ接続して信号をコントロールしているため、回線料が大きな負担となっている。そこで隣接する信号制御機間で電波を用いた交差点ネットワークを構築し、回線の集約化を図り回線料を削減するとともに、隣接信号機間で信号制御情報等を伝送することにより高度な信号制御を行う。</p>								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>交通管制センターと信号交差点との回線構成を見直し、複数の隣接信号交差点間に回線料が不要な無線電波を用いた交差点ネットワークを構築することにより、複数交差点の信号データを主要交差点に集約した上で管制センターと主要交差点とのインターネットベースの通信事業者回線に置き換えることとし、回線料の低減を図る。また、この700MHz帯の無線電波を用いた路路間通信と路車間通信を組み合わせることで、FAST制御や緊急車接近情報提供を行う場合の課題について把握するための実験を併せて行う。</p>								
<b>実施方法</b>	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	-	-	-	51		
	執行額	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (26年度)	
	(成果目標) 電波を活用した端末制御通信による信号制御の高度化に関するモデル整備 (成果実績) 整備交差点数			成果実績	整備 交差点数	-	-	-	6
				達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	整備交差点数			活動実績 (当初見込み)	整備 交差点数	-	-	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	50,773千円 / 事業			算出根拠	26年度要求額 / 事業				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	機器購入費等		51						
	計	-	51						

事業所管部局による点検							
	項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			本事業は全国の交通管制システム等の維持経費削減という観点から、優先度は高い。また、維持経費削減の効果を上げるためには統一的な仕様による本システムを全都道府県警察で導入することが必要であり、国が実施すべき事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。						
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。						
	受益者との負担関係は妥当であるか。						
	単位当たりコストの水準は妥当か。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。						
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>過去の事業仕分け等の結果、横断的な見直し基準等の反映状況 事業の必要性等を検証し、単価等の検討を行った上で予算の積算を行っている。</li> <li>事業の成果目標及び活動指標の設定状況及び事業効果等の検討状況 適切な成果目標及び活動指標を設定しており、事業効果も高いものと認められる。</li> <li>国民のニーズへの対応状況 交通管制システム等の維持経費削減を図りつつ、高度な信号制御を活用した安全な交通環境の確保は、国民の生命・身体の安全確保に資するものである。</li> <li>警察庁が行う業務としての妥当性 全国の交通管制システム等の維持経費削減及び高度な信号制御を行うための新たな機器の開発は、今後都道府県警察への導入を見据えて検証する必要がある。警察庁が行うべき事業である。</li> </ol>						
	<b>外部有識者の所見</b>						
	外部有識者の点検対象外						
	<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
要求に当たって検討すべき事項について、おおむね適切に検討がなされている。							
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
特になし。							
<b>備考</b>							
特になし。							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-	

警察庁  
51百万円

(モデル事業の委託に要する予算を配賦)



【予算配賦】

県警察

(システム開発・整備を委託)



【一般競争入札を予定】

(電波を活用した端末制御通信による信号制御の高度化に関するモデル事業を実施予定)

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

# 電波を活用した端末制御通信による信号制御の高度化に関するモデル事業

< 目的 >

- 路側機器間(路路間)、路側機器と車載機間(路車間)通信等のインフラを集約し機器整備に係るイニシャルコストの削減
- 回線集約によるランニングコスト(通信費用)の削減

**「ライフサイクルコストの削減」**

